



小野 史郎さん(73)
まつ子さん(73)
中田町・浅水新田
1965(昭和40)年12月入籍

譲り合いの気持ちが大切だね

★2人のなれ初めは
【史郎】お互い、志津川町(現南三陸町)のチリ地震の津波工事現場で働いてた。俺は高校卒業後、住み込みで、妻は戸倉が自宅だったんだね。
【まつ子】土建業だから、土日関係なく働いで、雨降った日がお休みだったのね。休みになると映画館に、みんな行っただの。そのうちに、まず自然とね笑)。
★お互いの第一印象は
【史郎】健康そうで農家に向いてるなど思ったね(笑)。
【まつ子】温厚で静かな人だと思っただね。
★結婚当時の思い出は
【まつ子】ゆいっこで田植したんだけど、植える人のスピードが違うのね。要領つかめなくて、大変だったね。
★現在の楽しみは
【史郎】仕事忘れてつしや、ゆっくり県外歩いて見たいね。
【まつ子】紅葉とか、互市には毎年行ってるね。
★夫婦円満のコツは
【史郎】仕事のことで見解が合わねえことがたまにあるけど、譲り合うことだね。それと、家族でお互いあいさつは、あだりまえだね。
★これからやりたいこと
【二人】京都や日本海のカニを食べに、歩いてみだいな。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「ふるさととは遠きにありて思ふもの」

在京東和会が開催する「東和のつどい」の世話人が集まった時のこと。NHK連続テレビ小説「ひよっこ」の話になりました。東京五輪前後を舞台にした物語で、その姿が自分たちと重なり、盛り上がりました。
「夜行列車で上野駅へ。汽車の煙のすすでワイシャツが黒くなった。でも、石炭の匂いは心地よかった」多くの女性は、静岡の紡績工場に就職。読めない地名がたくさんあったり、乗り換え回数も多かったり、帰省も一苦労。簡単に帰れなかったね」など、話は尽きません。当日来られない人に、手紙での参加をお願いしました。

佐藤憲七さん(70)

東京みやぎ東和会事務局長
市在京町人会連絡協議会委員
東和町(米川第6区)出身



その一部を紹介します。
日さん。「来年、80歳を迎えます。19歳の時、パン屋で働きはじめ、周りには集団就職者がたくさんいました。70歳の時、福島県で同級会を開催。今では「元気で頑張っているか」が同級生の合言葉。
Sさん。「88歳の誕生日に、会からのお便りが届きました。子ども、孫とその連れ合い、さらにひ孫と盛大に祝ってもらいました。先の大戦の戦渦をくぐり抜けて、尊い命の犠牲のもとに生かされています」
Aさん。「68年3月に上京しました。荷物は布団と柳こうりに入ったわずかな着替えと生活用品だけ。上京して、都内の駅に降りたとき、ジンチョウゲの香りが漂っていました。あれから50年、柳こうりは捨てられず、子どもの保育園の連絡帳などがびっしり詰まっています。「ジンチョウゲ」と「柳こうり」は、東京暮らしの原点です」
室生犀星の詩「ふるさととは遠きにありて思ふもの。そして悲しくうたふもの」を寄せてくれた人もいます。
東京みやぎ東和会は、多くの仲間を支えられ活動しています。

おらほの産直

豊里地域産物活用施設「産直がんばる館」



「旬の野菜、切り花、漬物、日替わりお弁当や手作り和菓子など数多く商品を取りそろえています」と話すスタッフの皆さん

今月は、豊里地域産物活用施設「産直がんばる館」の志賀元一組合長に話を伺いました。
Q「産直がんばる館」の特徴などについて教えてください
本市の南の玄関口に位置する「産直がんばる館」は、特産品や工芸品などを数多く展示、販売しています。また、JR気仙沼線「陸前豊里駅」の駅舎内にあるので、JRの乗車券や特急券、新幹線などの指定席も購入できます。
Q今の時期、おすすめ商品を教えてください
この季節は、豊里町産のト



真っ赤でおいしいそうなトマトがお出迎え

マトが出始めました。減農薬で栽培されているので、昔ながらの深い味と香りが味わえます。そのまま食べるのももちろん、寒い日には煮込み料理にも最高です。また、味が濃厚なナガイモ、ヤーコンや酢漬けができるショウガの根茎など、珍しいものも取りそろえています。
町内産の落花生も隠れた人



旬の野菜や地場産品が所狭しに並びます

気商品で、贈答用として喜ばれています。ぜひ、一度ご賞味ください。
【問い合わせ】道豊里地域産物活用施設「産直がんばる館」
☎0225(76)6201

まちの文芸
俳句・川柳

作品募集!
●12月号は短歌です。住所・氏名・電話番号を記入し、10月31日(火)までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。

俳句
御番所へ続く山道遠郭公
今年米稔り豊かに袋詰め
仕舞湯の窓を細目にきりぎりす
北上川の釣瓶落しや畑仕舞
経塚は松の風のみ秋薊
廃校の老松高し新松子
山荘の木立透かして十三夜

小野寺智子(迫)
菅原れい子(迫)
及川裕子(東和)
及川守男(東和)
小野寺和彦(東和)
春日悦子(東和)
村上君枝(東和)

寄せる波返す穂波の力かな
コンサート了えれば虫の二重奏
長雨に稲穂嘆きの頭垂れ
大虹の脚復興の浜あたり
片陰や久しき友の便り読む
木犀の香り居間にも座敷にも
秋天やグランドゴルフ熱戦す
恙無く齢いただき敬老日

五十嵐進太夫(中田)
石川敦子(中田)
小野寺夕へ子(中田)
黒田律子(中田)
今野ひろ子(豊里)
石崎よしの(米山)
佐竹恒子(津山)
高橋ちよの(津山)

応募総数20作品